

# 増税して成長？

わずか1年で国債発行金額  
|| 財政赤字は2倍増を示した。  
財政事情急変の主因は経済情  
勢の急激な悪化にあった。2  
008年後半に深刻化したサ  
ブプライム金融危機の影響で、  
世界的に不況が伝播した。

日本では麻生政権の認識が甘  
く対応が遅れ、経済が深刻化

した時点で14兆円規模の史  
上空前の補正予算が編成され  
た。官僚利権でんご盛りのバ  
ラマキ予算の典型だったが、  
この歳出拡大を主因に財政赤  
字が激増した。

さらに赤字拡大を増幅させた  
のが、税収見積もりの間違い。  
麻生政権（財務省）が見積もつ  
た税収は実績を9兆円も上回  
る過大見積もりであることが  
判明した。歳出の激増と税収  
の激減により、日本の財政赤  
字は25兆円から一気に50  
兆円超えに2倍増を示したの  
である。

今後、日本では人口の年齢別  
構成の高齢化に伴い、社会保  
障関係支出の激増が予想され  
る。財政収支のバランスを改  
善させると同時に、高齢化が  
進展した段階での財政破たん  
を回避するための方策を早急  
に検討することが求められて  
いる。  
政府債務残高のGDP比は早

晩、200%を突破する情勢  
にあるが、この数値は主要国  
のなかで突出して悪化したも  
のである。日本の場合、国内  
での所得と支出のバランスか  
ら生じる貯蓄が国内での実物

古典経済学の元祖である  
アダム・スミスも、現代経  
済学の巨頭であるJ・M・  
ケインズも投機の場合だと見  
てきた。

古代ローマの時代から、投  
機とは相手のスキを偵察し、  
金もうけずることであ  
る。材料を探しては売  
買を盛んにすること  
莫大（ばくだい）な利益を  
むさぼる。  
ヘッジファンドという投  
機家集団により天文学的に  
増殖したデリバティブが突  
然消えたから、世界金融危  
機が起きた。そこで市場の

投資を大幅に上回り、巨大  
な資金余剰が生じているた  
め、政府部門が巨額の赤字  
を計上しても資金のひっ迫  
が生じることがない。  
これが欧州諸国などの決  
定的な違いです。しかし、  
将来にわたって資金余剰が  
持続する保証はない。できる  
だけ早期に財政収支バランス  
を改善させることが求められ  
ている。  
財政収支を改善させる方策の  
第一は、経済改善により税収

本家である米国でも金融界  
の大御所、P・ボルカー元  
連邦準備制度理事会（FR  
B）議長の提唱で、ヘッジ  
ファンドを対象にした市場  
規制に乗り出そうとしてい  
る。

◆日本国債相場は安定  
「公的債務残高が国内総生  
産（GDP）の2倍近くに  
もなる日本は市場の標的と  
なり、ギリシャの二の舞い  
になる」と盛んに警告する  
ところが、現実逆で日本

## 市場とは

の増加を図ること、  
第二は、政府支出の無駄を排  
除すること  
第三は、増税などの歳入増加  
策を実施すること、であるが、  
これまで何一つ実現していな  
い。

財務省主導の消費税増税路  
線はかつての橋本増税路線に  
酷似し、日本を奈落の底へ導  
いた失政だ。財務官僚の手の  
ひら人形を具現した勘違い。  
「菅よ、お前もか」  
国債は買われ続け、長期金  
利は下がっている。  
日本国民が国債の95%  
を安定保有しているだけで  
はない。日本は、対外投資  
収益でも黒字を増やしてい  
る世界最大の債権国である。

経常収支が大幅な赤字  
で国債の7割を外部に  
頼るギリシャを重ね合  
わせようとは、世界の投機  
家も思っていない。それ  
なのに、自ら「わが国債は  
暴落するぞ」と騒ぐ。「オ  
オカミよ、来い」とでも言  
うのだろうか。

(有)西川経営オフィスサービス

中  
村  
会  
計

事務所便り

2010年6月28日(月) NO 122

地域から明るい未来を作ろう